

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標6_地球環境・生活環境・上下水道】

施策 6-2_生活環境の保全と調和

基本計画		事業番号	細事業名称
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	04094_01	環境調査事業
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	04138_01	浄化槽設置整備事業
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	04260_01	猫不妊・去勢手術補助事業
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	07019_01	休廃止鉱山鉱害防止対策事業補助金
6-02-02	時代に調和した葬祭施設等の推進	04033_01	斎場施設整備事業
6-02-02	時代に調和した葬祭施設等の推進	04175_01	市営墓地整備費

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	04094_01	
事業名(行目名称)		環境調査費		環境調査事業			
総合 計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道		施策			
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上		担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	市民			数値	116,052人	
	手 段 (どうやって)	各種環境調査項目について調査・分析を行う。					
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	大気・水質・悪臭・騒音等の調査を行い、現況を把握し、生活環境の保全を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○役務費 406千円 ○委託料 1,000千円	
経費		1,045	1,406	1,406			
財 源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	1,045	1,406	1,406			
IV 指 標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
道路交通騒音達成率 (環境基準達成戸数/主要道近傍の住居戸数 *100)			目標値	100	100	100	100
			実績	99.1	99.1		99.2
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
道路騒音調査については9月に委託業者が決定し、日程調整を行っている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
道路交通騒音の常時監視は法定受託事務であり、継続的な監視が必要である。 大気汚染自動測定機の更新に伴い、予算要求額は拡大する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
大気・水質・悪臭・騒音等の調査を行った結果、環境基準はおおむね達成されており、生活環境が損なわれていないことが確認できた。特に自動車による騒音については、主要道近傍の住居に対する騒音の現況を把握できた。また、事業者による騒音や悪臭の発生についても、騒音測定や悪臭分析により効果的に指導をおこなった。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04138_01		
事業名(行目名称)		浄化槽設置整備事業	細事業名	浄化槽設置整備事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	生活環境の保全と調和			
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上	担当課	廃棄物対策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	汲取り・単独浄化槽人口(公共下水道計画区域外)	数値	20,664人			
	手段(どうやって)	昭和63年より合併処理浄化槽設置整備事業に取り組み、令和3年度末までに2,160基の浄化槽設置者に補助を行った。補助申込数の減少に対応するため、単独浄化槽から合併浄化槽への転換を促すため、単独浄化槽の撤去費補助について補助項目とした。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	公共下水道事業計画区域外においては、生活排水が水路・河川等に直接流されており、全国的にも都市部においては河川汚濁の原因となっている。したがって、この地域を対象に生活排水とし尿を併せて処理できる合併処理浄化槽の設置を推進し、公共下水道事業計画区域外での水洗化率を向上させ、河川等の汚濁の原因を公共下水道との両輪で根幹から改善していくことにより、長期総合計画にあるまちづくりを目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 29,574千円	
経費		3,652	29,574	29,574			
財源	県・国支出金	1,703	13,801	13,801	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	15,773	15,773			
	一般財源	1,949	0	0			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
浄化槽補助基数 合併処理浄化槽設置率(下水道除く)		目標値	40	0.525	0.538	0.55	0.575
		実績	20	0.542	0.542	0.564	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
昨年度を上回る申請件数となっており、順調に執行出来ている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
早期に水洗化率向上の目標が達成できるように、継続して事業を行う必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和5年度より宅内配管工事費や便槽撤去費の一部補助の追加を行い、補助件数も大幅に増加したことから、生活排水全体の水質向上に寄与することができた。なお、今後においても国・県の動向を注視しながら、補助メニューや補助額等においても随時検討を行い、市民からのニーズに応えられるよう、継続して事業を実施する必要がある。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	04260_01		
事業名(行目名称)		猫不妊・去勢手術補助事業費	細事業名	猫不妊・去勢手術補助事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	生活環境の保全と調和			
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上	担当課	環境衛生課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	116,052人			
	手段(どうやって)	飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部を補助する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	飼い主のいない猫の望まれない繁殖を防ぎ、良好な生活環境の保持を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		548	500	500	○負担金補助及び交付金 500千円		
財源	県・国支出金	152	0	0			
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	396	500	500			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
不妊去勢手術実施補助頭数		目標値	90	90	60	60	120
		実績	31	74	77	77	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
事業の利用者が多く、9月に予算金額に達したため、新規受付を終了した。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
市民からの要望も強く、事業は継続する。また、成果向上のため、一般財源以外の予算確保等の様々な方法を検討する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
県補助が終了となり、事業費が減少したこともあり、9月初旬に補助事業は予算満了となり終了となった。市民からの要望も強く、猫の繁殖を防ぐために、事業を継続して実施することが必要である。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	07019_01		
事業名(行目名称)		休廃止鉱山鉱害防止対策費	細事業名	休廃止鉱山鉱害防止対策事業補助金			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	生活環境の保全と調和			
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上	担当課	産業振興課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	住友金属鉱山(株)		数値	1		
	手段(どうやって)	国の「休廃止鉱山鉱害防止等工事費補助金(休廃止鉱山防止工事費)交付要綱」より、別子銅山のように鉱害防止義務者が存在する鉱山に対し、自然(他者)汚染分の坑廃水処理経費のうち3/4を国、残り1/4を地方公共団体(県1/8、市1/8)が補助することとなっている。新居浜市も「新居浜市休廃止鉱害防止等工事費補助金交付要綱」を設置し、昭和56年より住友金属鉱山(株)が実施する坑廃水処理事業(坑水路補修や坑水路維持垢掃除等)に要する費用の一部を国・県とともに補助している。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子銅山から排出される坑廃水を適切に処理したのちに放流することで、鉱害を未然に防止する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		4,999	5,058	5,058	○負担金補助及び交付金 5,058千円		
財源	県・国支出金	0	0	0			
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	4,999	5,058	5,058			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
坑廃水を起因とする鉱害の発生数		目標値	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>別子銅山の坑廃水を未処理のまま放流した場合、広範囲にわたって土壌汚染、飲料水汚染、瀬戸内海の汚染等を招く恐れがあり、市民の安心で快適なまちづくりのため事業を継続的に実施していく必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
<p>廃止後の別子銅山に係る鉱害及び危害を防止するため、国・県とともに事業費の一部を継続して助成する。なお、事業経費が前年度より減少する見込みのため、減額を行う。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>住友金属鉱山株式会社が実施する坑廃水処理事業に係る費用の一部を国・県とともに助成し、廃止された別子銅山に係る鉱害の防止及び安全な水環境の整備・汚染防止につながった。安心・快適なまちづくりのため、今後も事業を継続する。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	04033_01		
事業名(行目名称)		斎場施設整備事業		細事業名 斎場施設整備事業				
総合 計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道		施策 生活環境の保全と調和				
	基本計画	時代に調和した葬祭施設等の推進		担当課 環境衛生課				
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	全市民			数値	116,052人		
	手 段 (どうやって)	施設の延命化と利用者の利便性向上を図り、休止のない斎場施設の安全かつ安定的な運転を行うため、施設や設備の修繕、更新等を計画的に実施する。						
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	利用者の希望にそった休止炉のない運営を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○工事請負費 12,088千円		
経費		9,041	12,088	12,088				
財 源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0				
	一般財源	9,041	12,088	12,088				
IV 指 標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
開場日に対する稼働日の割合			目標値	100	100	100	100	100
			実績	100	100	100	100	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
利用者の利便性向上及び施設の延命化を図り、斎場施設の安全かつ安定的な運営を行うため、施設設備の修繕補修及び更新を計画的に実施している。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
火葬設備については、今後も計画的なメンテナンスを実施することにより、安全かつ安定的な運転に努める。なお、設備の稼働年数経過や更新設備の種類によっては費用が増大する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
施設並びに設備の修繕及び更新等を計画的に執行することにより、斎場施設の安全かつ安定的な運転を行うことができ、併せて施設の延命化と利用者の利便性向上が図れた。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	04175_01		
事業名(行目名称)		市営墓地整備費		細事業名	市営墓地整備費			
総合 計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道		施策	生活環境の保全と調和			
	基本計画	時代に調和した葬祭施設等の推進		担当課	環境衛生課			
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	市営墓地利用者及び墓地を必要とする市民			数値	116,052人		
	手 段 (どうやって)	三墓地の返還墓所のうち、ニーズのあると見込まれるものについて順次整備し、再貸出ししていく。あわせて、再貸出しにより新たに生まれる使用料収入の範囲内において、三墓地の修繕等を行っていく。						
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	三墓地において、返還されたまま放置されている墓所を順次整備し、再貸出ししていくことにより、墓所の循環利用を促進し、行政財産の効率的な活用及び市営墓地の適正管理を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		4,778	7,500	7,500		○需用費 6,478千円 ○委託料 1,022千円		
財 源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	4,389	7,500	7,500				
	一般財源	389	0	0				
IV 指 標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
墓所使用料収入(千円)			目標値	7500	7500	7500	7500	7500
			実績	1470	4389	2415	4053	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや低い	有効性	やや高い	効率性	やや低い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>本年度下半期において、三墓地再貸出し予定墓所の区画整備及び墓域内整備(安全設備・水路土砂撤去・水路汚泥除去等)を計画的に実施する。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向						
<p>三墓地内返還空墓所を整備して再貸出しすることにより、墓所の循環利用を促進し、行政財産の効率的な活用及び市営墓地の適正管理を図るためにも、現状を維持する。</p>								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>空き墓所を順次整備し、再貸出しすることにより、墓所の循環利用が促進できており、行政財産の効率的な活用及び市営墓地の適正管理が図れた。</p>								

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)				数値		
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				